９０．田近越（たぢかごえ）・小原越（おはらごえ）・二俣越（ふたまたごえ）（朴坂越（ほうさかごえ）・三ノ坂越（さんのさかごえ））

選定箇所：田近越―八講田、八講田～五郎丸～八伏～一乗寺城跡（富山県小矢部市）～字南横根～字常徳、字常徳（石川県津幡町）～琴町、北千石町（石川県金沢市）

小原越―五郎丸～内山（富山県小矢部市）～松根城跡～竹又町、竹又町～堀切町、桐山町～切山城跡（石川県金沢市）

二俣越―坂本～朴坂峠～小又（富山県南砺市）、荒山町～荒山城跡～二俣町、二俣町～不室町～高峠城跡～釣部町～牧町～伝燈寺町～夕日寺町～御所町～山王町（石川県金沢市）

概要：越中国と加賀国を結ぶ道で、中世に遡る道である。交通の要衝であり、道筋に山城が対峙するように築かれ、天正１２～１３年（１５８４～１５８５）の前田利家と佐々成政による加越国境の攻防の緊張を伝える。小原越では堀切が切断する戦時封鎖が確認されており、一部が史跡「加越国境城跡群及び道」に指定されている。

小原越（富山県）

小原越（石川県）